

## ROLL CARPET

# その不安解消できます！



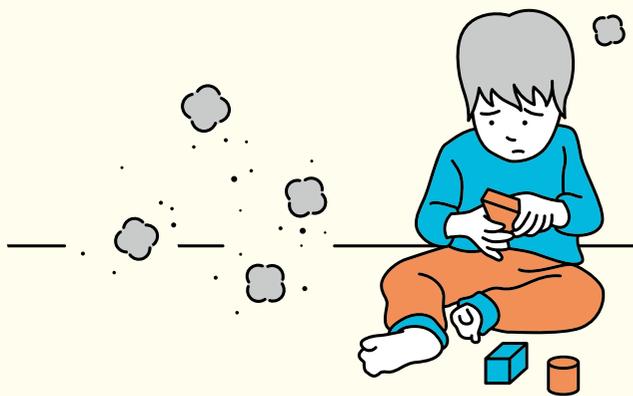
カーペットと聞くとダニやホコリ、お手入れの大変さを連想する方も多いかもしれません。もし、そんなネガティブな印象でカーペットを避けているならもったいない！よくある不安や懸念にお答えします。

### Q 01

ホコリの舞い上がり、アレルギーとの関係は？

ANSWER

カーペットは繊維特有のダストポケット効果により、ダニやホコリなどのハウスダストを舞い上がりにくくする効果があります。アレルギー原因物質の発生を抑制するためには、カーペットをこまめに掃除することも効果的だと考えられています。



お隣や下の階への生活音対策になりますか？

### Q 02

ANSWER

カーペットは、硬質床材と比べて階下へ伝わる音を軽減できます。特にカンガバックカーペットは裏面の高発泡ウレタンパッキングにより、椅子の移動や物の落下音など軽量床衝撃音の緩和に優れています。  
※商品により異なります。

### Q 03

床のすべり対策として効果はあるの？

ANSWER

小さいお子さまやシニアの方などがお住まいのご家庭では、滑りにくい床材を選ぶと安全・安心です。カーペットは木質フローリング・フロアタイルと比較して滑りにくく、硬質床材よりも転倒時の衝撃力が小さいため、安全性が高い床材です。  
※商品により異なります。





# Q 04

## あんな時、こんな時、メンテナンスって大変？

ANSWER | 長く気持ちよくお使いいただけるように、正しいお手入れ方法をご紹介します。

### 掃除機で基本のお手入れ | ホコリやゴミ、ダニを取り除く

週に  
**2回**の  
掃除機

最初はゆっくりと



同じ場所を2往復しながら1m当たり20~30秒を目安にゆっくりとかけていきます。

丁寧に、逆目で



カーペットの毛並みと逆方向に掃除機をかける。パイルが立ち上がり、ゴミを吸い取りやすくなります。

粘着テープも活用



掃除機では取りにくい糸くずや絡みついた髪の毛は、粘着テープを活用しましょう。

### 拭き掃除で定期的なメンテナンス | 全体的な色のくすみをとり、キレイを保つ

月に  
**1回**の  
拭き掃除

タオルで水拭き



中性洗剤を数滴溶かした水(2L)でタオルを濡らし、絞ってから拭きます。その後、お湯でタオルを濡らし固く絞ってから、洗剤が残らないよう、綺麗に拭き取ってください。

洗剤選びのコツ



住居用や洗濯用の中性洗剤を選びましょう。酸性やアルカリ性の洗剤はパイル繊維を変質・変色させることがあるので、使用しないでください。

汚れがひどい時は



汚れがひどく拭き掃除では落としきれない時はカーペットのクリーニング業者にご相談ください。

### 補修方法 | ほつれや家具によるへこみ、タバコの焼け焦げを補修する

ほつれの補修



決して引っ張らないでください。ほつれたパイルを周りと同じ高さにはさみで切り揃えましょう。

へこみの補修



スチームアイロンをタオルの上から軽くあてるか、お湯を含ませたタオルで表面を濡らし少し距離を空けてヘアドライヤーで乾かすと、ある程度回復します。

焼け焦げの補修



焼け焦げた部分をカッターやハサミで切り取り、家具の下などの目立たない所のパイルを木工用ボンドで焦げ目の部分に埋め込んでいきます。

### シミの対処方法 | 汚れをこぼしたらすぐに対処することが大切

※汚れの種類や程度によっては落ちづらいものもありますので、できるだけ早く汚れを取り除いてください。

#### シミの種類の見極め方



濡れたタオルの端をシミに当て、シミが移ってくるようなら水性です。どちらか分からない場合は油性のお手入れ方法をお試しください。

水性のシミ  
(醤油など)



- ①ティッシュや紙ナプキンでたたいて水分を吸い取る。
- ②水で薄めた中性洗剤をタオルに少量ずつつけ、シミ部分をタオルに移す。汚れを広げないよう、周りから中央に向かって行う。
- ③固く絞ったタオルで洗剤を拭き取り、少量の水分を含ませたティッシュで拭き取る。
- ④乾いたタオルで水分を吸い取った後、しっかりと乾かす。  
※シミを取るために使用する洗剤もシミの原因になりますので、使用時は水で十分に薄めて使用し、お手入れ後はしっかりと洗剤を拭き取ってください。

油性のシミ  
(クレヨンなど)



- ①除光液を少量含ませた水で汚れをたたき取る。
- ②水で薄めた中性洗剤をタオルに少量ずつつけ、たたくように拭き取る。
- ③固く絞ったタオルで洗剤を拭き取り、少量の水分を含ませたティッシュで拭き取る。
- ④乾いたタオルで水分を吸い取った後、しっかりと乾かす。  
※シミを取るために使用する洗剤もシミの原因になりますので、使用時は水で十分に薄めて使用し、お手入れ後はしっかりと洗剤を拭き取ってください。